

普通科生物121班

食べられる植物・食べられない植物



班員 海野 沙和 浅野 勇人 上原 維和 指導者 今仁先生
 上杉 宥太 甲斐 頼知 甲斐先生

研究の動機

災害などが起きた時に、食べられるかどうか分かっていると、非常食になり、役に立つから。

先行研究

毎年春になると、植物性自然毒(キノコを除く)による食中毒が多く報告されます(図1)。

山菜と間違えて毒のある野草(トリカブト、バイケイソウなど)を食べたことが原因となっています(図2)。

スイセン、チョウセンアサガオ等の園芸植物は、庭に植えられている食用植物(ニラ、ゴボウなど)と誤認して食べてしまうことがあります。(写真1)

↓ 図1



↓ 図2



↓ 写真1



研究方法

- ① サンプルを持ってくる → 延高
 - ② アプリで確認・分ける → Picture This
 - ③ 植物の名称と生息地を調べる
 - ④ 延高の食べられる植物の分布図を作成
 - ⑤ 菌根菌の量を調べる
- 食べられる植物=A 食べられない植物=B

参考文献

植物毒の教材開発
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jissep/32/0/32_283/article/-char/ja/
 Copyright© 2004 Kanagawa Prefectural Institute of Public Health. All rights reserved
 邑田仁 (2014)スタンダード版 APG牧野植物図鑑1 2 北隆館

仮説

食べられる植物	・日が当たる所にある ・種類が多い
食べられない植物	・日が当たらない所にある ・種類が少ない

実験結果・考察

- ・運動場の周りにはAの植物が少なかった
- ・Aの植物とBの植物ではBの方が多かった
- ・日が当たる所にあるかどうかは関係がない



今後の課題

- ・菌根菌の量を調べ、菌の量と判定に関係があるのかを調査する
- ・対象の植物を増やす

名前	採取場所	運動場周り	日当たり	繁殖量	時期	判定	可食部
タンポポ	中庭	×	良い	少ない	一年中	○	全部
ドクダミ	中庭	○	悪い	多い	4月～5月	○	全部
クローバー	運動場	○	良い	多い	一年中	○	花、葉
エノコログサ	中庭	○	良い	多い	一年中	○	熟した株
アレチノギク				多い	一年中	○	不明
ヘクソカズラ				少ない	不明	×	×
センダン					一年中	×	×

↑ 延岡高校で採取した植物早見表